



SEIDANREN 生団連

国民生活産業・消費者団体連合会

生団連ニュースレター Vol.108

生団連ニュースレターでは、「国民の生活・生命を守る」という使命のもと、様々な活動に取り組む生団連の最新情報を皆様にお伝えしています。

2026年1月号

第17回 消費者部会 開催

11月13日（木）第17回消費者部会を開催いたしました。

阿南部会長による議事進行のもと、以下の議題について、出席者による活発な議論や意見交換が行われました。

議題

I. 最重点課題・重点課題・研究課題

2025年度活動計画・2025年度活動進捗報告

II. 活動交流

III. 事務局機能強化



▲阿南会長 兼 消費者部会長

出席者ご意見 ※抜粋

●最重点課題・重点課題・研究課題

・有事における国民的危機への対応

生団連の有事が指す内容について誤解のないよう発信を。災害対応における行政の縦割りに懸念。県境や区境含め多様な災害に対応できるよう体制・法制度整備も必要。

・エネルギー・原発問題

六ヶ所村視察に参加し、使用済燃料の再処理等についての課題を認識した。一般には十分伝わっていないと感じた。まずは自ら自団体や依頼があった団体で講演し、共有している。今後も周知活動を継続したい。

●活動交流

・100を超える行政や業界団体などの委員会で得た情報を、組織として共有し、それぞれの委員会で発言機会がある際には、生団連の活動内容も含めてフィードバックする取り組みを継続している。今後とも、生団連の活動に貢献できるよう努めたい。

・外国人労働者が地域の労働力として重要な存在である一方、言語・教育などの課題は残っている。引き続き、地域の課題に向き合いながら、町内会や自治会と協力し、住みよい地域づくりに取り組んでいきたい。

●事務局機能強化

・生団連課題を、誰が、どのように分かりやすく伝えるかが課題であり、事務局だけでは限界があるため、地域の消費者団体がパイプ役となり情報を届ける必要がある。生活者視点で理解しやすい形に工夫することが重要である。

・生団連の特徴は、「約700社を超える企業が母体となって支えている点」である。企業が会員企業はTOP自ら、自社の社員にも生団連の存在や意義を社内報などで浸透させてほしい。



▲ご発言いただいた方々（一部）

～各課題 活動報告～

政策検討

生団連の取組み方針を議論

■実施内容

- ・事務局、一部役員の方々との意見交換

■目的

- ・生団連の理念、社会環境の変化などを踏まえ、今後取り組むべきテーマについて指針を定める

■成果

- ・人口減少を大前提とし、生団連が取り組むテーマを「生活・生命を守る4つの基盤」=「健康・安全、人財・教育、経済・財政、デジタル・AI」として整理

有事

有識者取材による論点整理

■実施内容

- ・提言作成に際して関西大学 永田尚三教授に取材し、日本の危機管理体制の現状と課題、防災庁構想への評価を整理

■目的

- ・オールハザードの観点から提言の論点を明確化する
- ・外部有識者とのリレーション構築と委員会への巻き込み

■成果

- ・提言集作成に向け、重点論点と方向性を明確化
- ・同氏より次回委員会参加を含む生団連活動への共感を得た

財政

ファクト集 完成

■実施内容

- ・国家財政の何が、どう、なぜ見えづらいのか、事実や実態をもとに整理しファクト集を作成

■目的

- ・国家財政の問題や見える化に向けた課題を多様な主体(会員・議員・メディア・学者・学生など)と共有する

■今後の活用

- ・意識啓発や政策提言を目的とした、多様な主体との意見交換のベースとして活用する

外国人

散在地域の連携事例の取材

■実施内容

- ・群馬県教育委員会、高崎市役所、伊勢崎市教育委員会、群馬県庁地域創生部多文化共生係を取材

■目的

- ・現在検討中の教育における連携モデル（教育委員会、学校や外部団体等）案における、散在地域の課題や特徴を把握

■成果

- ・教員や指導体制の巡回指導を行う「日本語指導スーパー・バイザー」の設置や、教員研究発表会による好事例の横展開等散在地域の外国人教育についての示唆を得た

エネルギー ・原発問題

資源エネルギー庁と意見交換

■実施内容

- ・12月2日使用済み燃料の最終処分を所管する放射性廃棄物対策課と意見交換

■目的

- ・9月25日実施の委員会で挙げられた会員の意見を踏まえ、最終処分実現に向けた担当省庁の考えを伺う

■成果

- ・担当省庁として最終処分の実現に向けて主導して取り組む意思を確認。省令改正、自治体訪問等の積極的な取り組みを確認

災害

JVOAD主催フォーラム出展

■実施内容

- ・全国の災害中間支援組織をつなぐ JVOAD 主催の「第8回災害時の連携を考える全国フォーラム」に協賛・出展

■目的

- ・行政とNPOなどの橋渡しを担う中間支援組織との連携を強化し、災害時により広い地域でお役に立てる可能性を広げる

■成果

- ・JVOADとの今後の連携を確認、各地で活動する中間支援組織と新たなつながりを得た

ジェンダー

アンコンシャス・バイアスセミナー 参加

■実施内容

- ・12月4日 厚生労働省「民間企業における女性活躍促進事業」事務局主催セミナーに参加

■目的

- ・アンコンシャス・バイアス解消に向けた理解を深める
- ・企業事例を踏まえ、取組みがどのように寄与するかを学ぶ

■学び

- ・アンコンシャス・バイアスは、「なくす」よりも、まず「気づく」ことが重要
- ・バイアス解消の取組みは、女性活躍推進法の行動計画や「えるぼし」認定の達成につながる

プラスチック 問題

プラスチック資源循環に向けた アンケート実施

■実施内容

- ・廃棄プラスチックの削減と効果的な再利用方法の検討のため、会員向けアンケート実施

■目的

- ・プラスチック問題の深刻化を受け、用途に応じた性能を満たすプラスチックの再利用が重要であり、その可能性を把握して資源循環を促進する

■成果

- ・60会員が回答済み

